

ビロイの制吐療法・支持療法

制吐薬適正使用ガイドライン: 高度催吐性リスクに分類



【前投与薬】

パロノセトロン点滴静注 0.75mg
ホスネツピタント点滴静注 235mg
デキサート注射液 9.9mg
ポララミン注射液 5mg
ファモチジン注射液 40mg

【悪心、嘔吐発現時】

ビロイ中断
+ プリンペラン注射液 10mg + 生食50mlで全開投与 (CSTDルートからのショットを避けるため)

【CAPOX】

カペシタビン内服
【mFOLFOX6】
レボホリナート
フルオロウラシル (急速静注)
フルオロウラシル (持続点滴)

【Day2、Day3、Day4】

デカドロン8mg内服

ポララミン : Infusion Reaction 予防、眠気による制吐効果への期待

ファモチジン : 胃酸分泌抑制による胃粘膜保護、Infusion Reaction 予防

オランザピン : 糖尿病が禁忌、ビロイへの直接的な効果の判断が難しいため、セットには入れていない

ビロイの点滴管理マニュアル

1. 治療開始時から終了時までモニター装着する。

2. 輸液ポンプを使用する。

3. 基本の投与速度

□体表面積1.6m²以上

ビロイを 80 ml/hで開始。

30分後、症状・バイタル問題なければ速度 160 ml/hに増量。

更に30分後、問題なければ速度 240 ml/hに増量。

(そのまま終了まで同じ速度)

□体表面積1.6m²未満

ビロイを 60 ml/hで開始。

30分後、症状・バイタル問題なければ速度 120 ml/hに増量。

更に30分後、問題なければ速度 180 ml/hに増量。

(そのまま終了まで同じ速度)

4. 悪心・嘔吐出現時の対応 (表1.参照)

① レベル2以上の悪心・嘔吐が出現すれば、点滴を中断し、プリンペラン1A＋生食50ml全開。

② レベル1になるまで中断を継続。

③ レベル1まで症状が改善すれば、症状出現の1段階前の速度から再開する。

④ プリンペラン1Adivし、1時間以上点滴を中断しても悪心、嘔吐がレベル1に改善しない場合、担当医に連絡する

⑤ 開始時の速度で中断が必要な症状がでた場合の再開時の速度は、開始時速度とする。

5. 過敏症出現時の対応

すぐに投与を中断し、医師に連絡。

過敏症出現後再開時は、中断した速度の1段階前の速度で再開する。

表1.

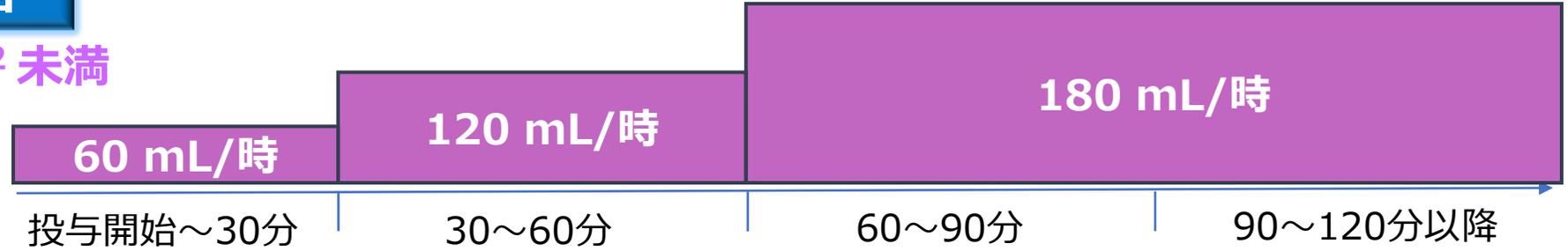
	レベル1	レベル2
悪心	患者が我慢できる かつ食事摂取できる	患者が我慢できない または食事が食べられない
嘔吐	嘔吐なし	嘔吐あり

*悪心:「症状でつらい」状態であれば、レベル2と判断

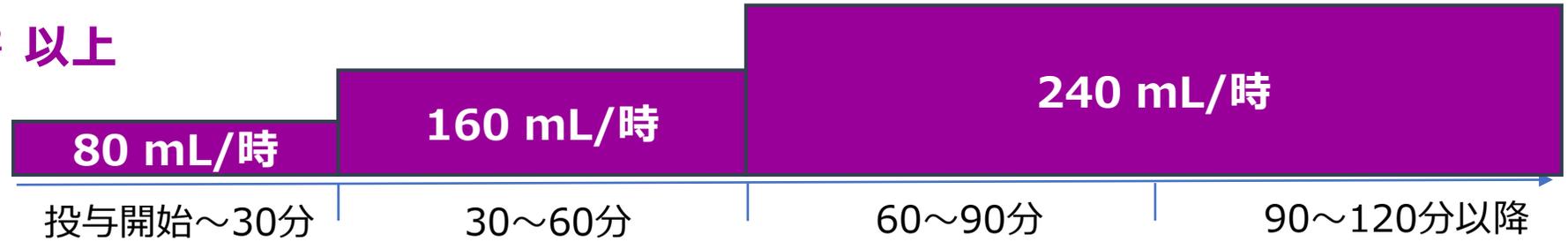
悪心、嘔吐に対する投与速度（初回）のマネージメント

■ 悪心、嘔吐がない場合

● 体表面積 1.6m² 未満



● 体表面積 1.6m² 以上

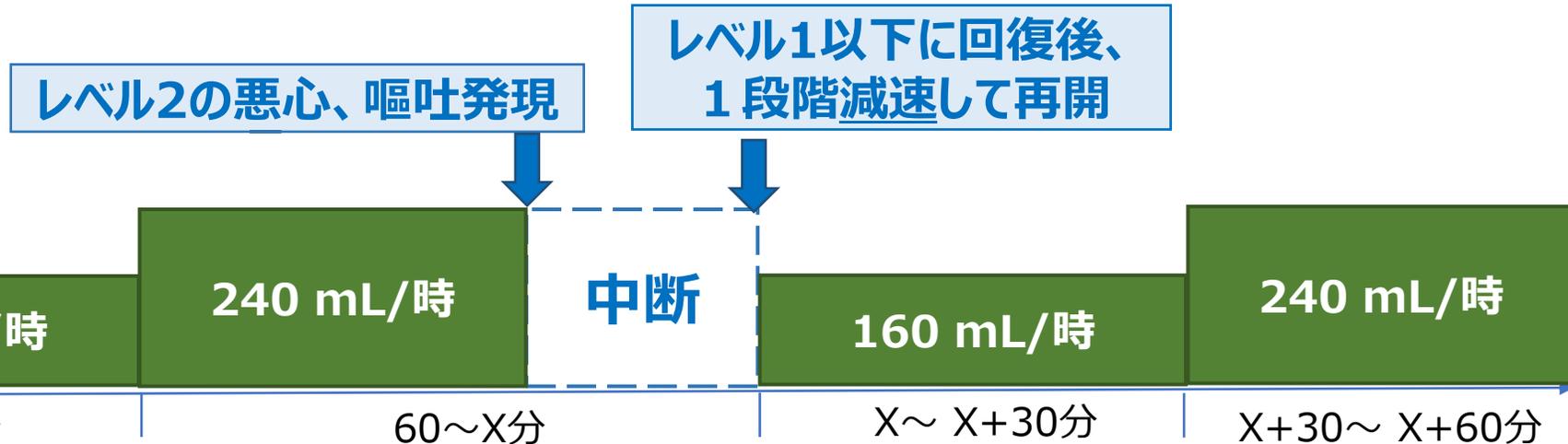


■ 悪心、嘔吐が出現した場合

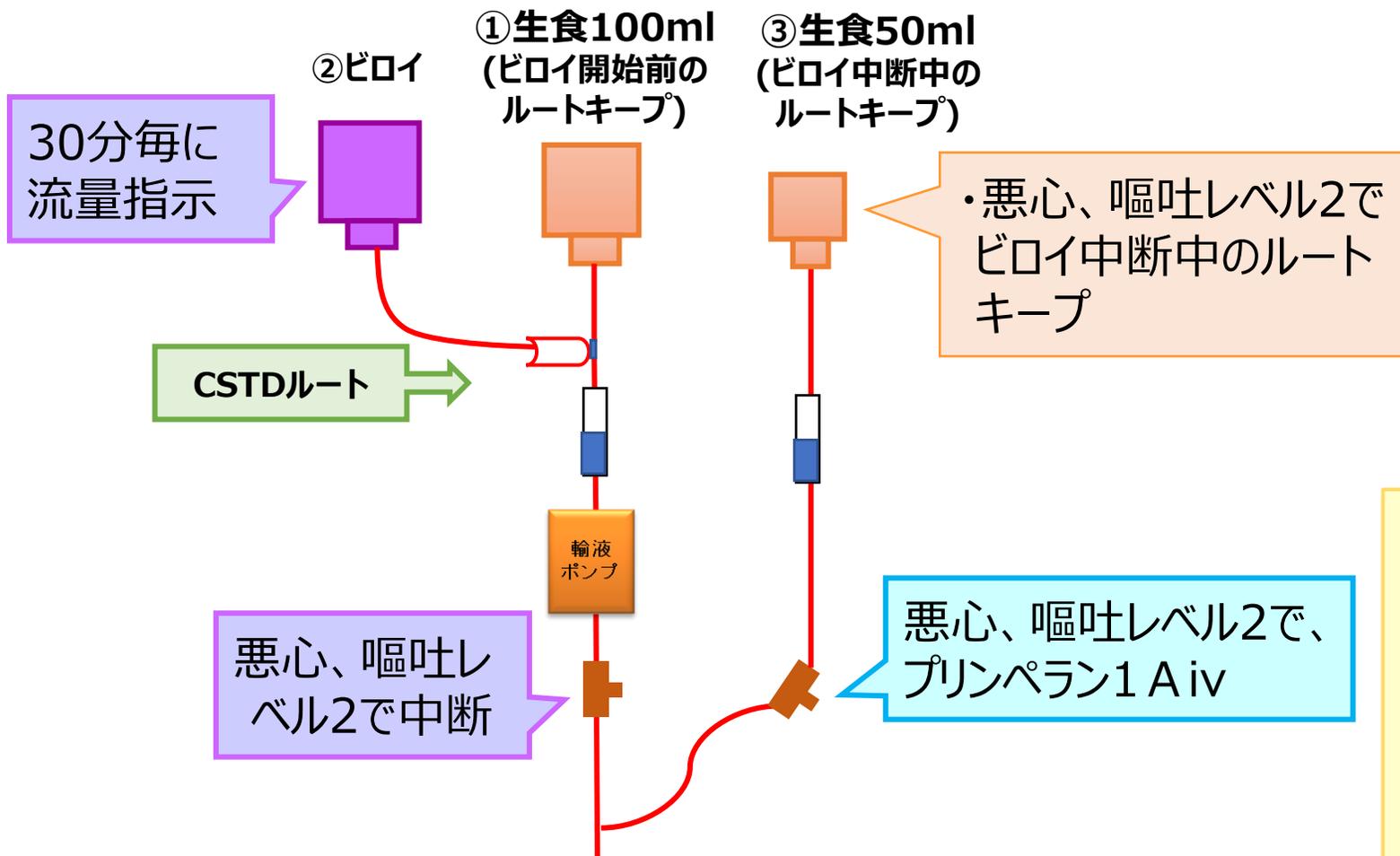
● 悪心、嘔吐レベル

	レベル1	レベル2
悪心	患者が我慢できる かつ食事摂取できる	患者が我慢できない または食事が食べられない
嘔吐	嘔吐なし	嘔吐あり

* 悪心：「症状でつらい」状態であれば、レベル2と判断



ビロイの投与方法



ビロイの注意点

- 調製後直ちに使用しない場合は冷所で保管し24時間以内に使用する。
- 室温に戻してから6時間以内に使用し点滴終了する。
- 血管外漏出分類：nonビシカント、nonイリタント相当（2024.7時点でガイドライン掲載なし、炎症性として取り扱う）

初回投与は入院管理 入院ケモパス(2泊3日)

	入院決定日	入院前日	入院日	治療実施日	退院日
医師	歯科口腔外科に診察依頼 薬剤指導依頼 同意書を用いて患者説明 入院予約入力	24時までにパス入力	診察 体温、体重、血液検査を 確認のうえ、入院確定 15時までにレジメン入力 内服の抗悪性腫瘍剤、デ カドロン処方	ケモ実施確定入力 病棟医ケモルート確保	
看護師				<ul style="list-style-type: none"> ・モニター装着 ・バイタル測定 (ケモ開始前、開始後30分、ケモ終了時、19時) ・Infusion reactionの症状（悪寒、戦慄、呼吸苦、皮疹）発現の有無を点滴開始後30分毎に確認 	朝のバイタル問題なければモニター除去、ルート抜針 デカドロン内服確認
薬剤師	薬剤指導実施				
食事			夕食：ハーフ食全粥	朝食：クミール 昼食：嚥下ゼリー 夕食：ハーフ食全粥	朝食：普通食2

看護師は点滴開始後
30分毎に訪室、確認

ビロイの治療を初めて受けられる方へ

ビロイは、1回目の治療で吐き気が出ることが多いお薬です。
しかし、吐き気が出たときに点滴を中断すると、すみやかに吐き気がおさまることが知られています。

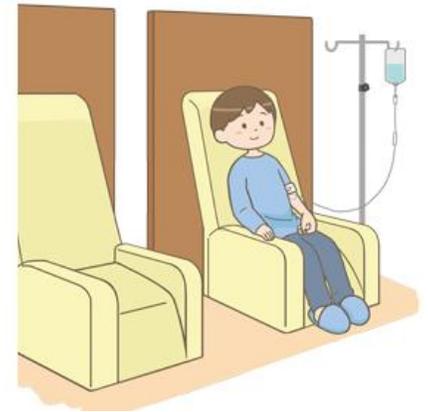


看護師は30分ごとに、様子をお伺いに行く予定ですが、吐き気が少しでも出現しましたら、遠慮なさらずにナースコールで看護師をお呼びください。
ビロイの点滴を中断する程度かどうか、患者様と看護師で相談して決めていきます。

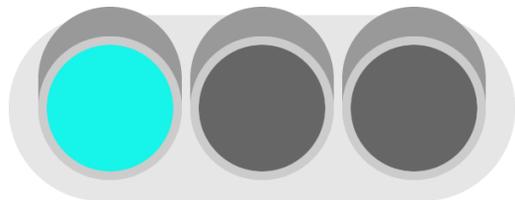


また、1回目の治療で吐き気が出ても、2回目、3回目と治療を行ううちに、吐き気が起こらなくなることも知られています。

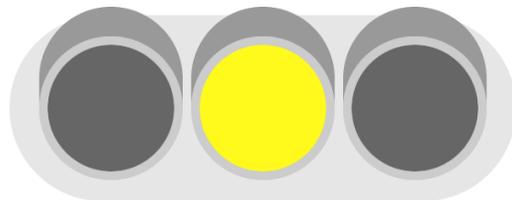
吐き気が起こらなくなれば、外来での治療も可能となります。



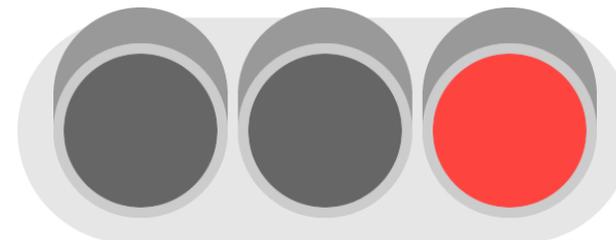
吐き気やおう吐の際はお知らせ下さい！



吐き気はありません！



吐き気はでてきたけど、
ご飯は食べれそう・・・



ナースコールでお知らせください



吐き気、どうにかできませんか？
ご飯たべれなさそうです・・・
吐き気が強くなってきました
吐いてしまいました



★投与中に吐き気やおう吐があれば、速度を調整します。

★**投与後でも**吐き気やおう吐があれば、我慢せず看護師にお知らせ下さい。